



# みのり

## No. 94

発行日

平成29年2月13日

発行者

社会福祉法人 みのり村

印刷

株式会社 クリエイト

掲載内容

- 1 プリンちゃん新築工事起工式
- 2 祈願式・年始・決意表明
- 3 決意表明
- 4 法人行事
- 5 視察
- 6 補助金・寄贈・研修会
- 7 表彰・行事
- 8 永年勤続表彰

### 経営理念

Management  
Philosophy

花のように 優しく 誠実に

私たちはみのりの精神である慈愛・奉仕・研究を基本精神とし  
地域・社会より愛され、認められる法人をめざし  
社会福祉事業の担い手として、地域・社会へ貢献します。

## 児童発達支援センター 「プリンちゃん」 新築工事まもなく竣工



完成予想図

「プリンちゃん」の新築工事起工式に関係者30人が出席し日出部で行われました。

内部は医務室や遊技場、ご利用者、ご家族の相談スペースを備えます。定員は30名とし、スタッフも増え、より手厚い支援を図っていきます。また隣接する「第1みのり学園」と事業を統合、再編し、分かりやすいサービスの提供、運営の円滑化も目指してまいります。

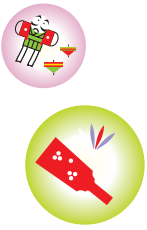


# 祈願式並びに年始

平成29年1月3日(火)日出部にて幹部職員による新年の祈願式を行い、今年一年の安全を祈願致しました。

引き続き、本部で全職員参加による年始を執り行いました。職員代表挨拶では、各代表3名が本年の決意表明を行いました。

理事長より、『国の社会福祉法人制度改革が行われるにあたり、今一度福祉の原点に戻って欲しい。公共性の高い非営利法人として法人の理念である「慈愛・奉仕・研究」を基に、村づくり福祉の拠点づくりに努めてもらいたい」と訓示がありました。



幹部職員による新年祈願式



抽選会の様子



理事長年頭挨拶

## 日出障がい福祉部

## 決意表明

年頭にあたり、日出障がい福祉部を代表致しましてご挨拶をさせていただきます。

平成28年を振り返りますと、熊本、鳥取、福島での相次ぐ地震、北海道・東北地方での台風や豪雨等、自然災害も多く、防災を意識する1年となりました。

障がい福祉分野では、改正障害者総合支援法が成立し、平成30年の施行に向けて、今後より一層障がい児支援のニーズ多様化へのきめ細かい対応が求められていくのではないかと考えております。

また、4月1日より障害者差別解消法が施行され、共生社会の実現に向けて障害を理由とする差別の解消を私たち一人1人の責務として捉えていくことが必要になってきました。

中でも“合理的配慮の提供”に関する内容は、各自治体や施設等でも関心が高く、事例がホームページに掲載されるほど細やかな対応の検討がなされています。日出障がい福祉部でも、今後どのような配慮が必要になってくるのか、障がい特性を理解した上で全体を通して対応策を考え、共通認識していく必要があると思いますし、個別に耳を傾け、アプローチしていくことに重点を置いた支援が求められていくのではないかと思います。そして、その過程を繰り返し、双方にとって満足できる解を見出すことが合理的配慮の本質だと認識しております。

今後、制度改革や社会情勢を受け、取り巻く環境は大きく変わっていくかも知れませんが、私たちの寄り添う、誠実な支援に変わりはありません。日出障がい福祉部全ての部署で手を取り合って、ご利用者、職員皆様が安心して笑顔で過ごせるよう日出部包括ケアシステムを作るのが私の理想です。その為に、地域の中に溶け込み、愛される施設作り、地域住民の受け皿になるような体制作りを目指して、日々努力を惜しまず精進していきたいと思っております。

最後になりましたが、今年1年がみのり村の皆様にとって、幸多き年になりますことを願い、私の決意表明とさせていただきます。

平成29年1月3日

第1みのり学園保育士 田中可奈子



決意表明をする田中可奈子支援員

## 杵築障がい福祉部

杵築障がい福祉部を代表しまして年頭のごあいさつを申し上げます。

私がみのり村に入社したのは平成21年4月。今年で8年目を迎えました。これまで第1みのり学園と白萩園で生活支援員として、障がいを持つ児童・成人の方々に関わってきました。入社して2年目、QC研究発表会で『発達障がい児の支援について』と題して発表する機会をいただき、発達障がいについて学ぶきっかけができました。その後、さまざまな研修への参加や施設見学・実習の機会をいただき、スキルアップのため資格を取得しました。

今勤務をしている白萩園においても発達障がいの診断を受けている方が複数名おられます。私は、発達障がい者支援についての研修を受けながら、その研修内容を参考に支援を行っています。年齢・性別・性格・健康状態などの違う方々と生活を送る中で、行動の表面だけを捉えず、行動に至る理由も含めて考察してのアフターケアや、障がいの特性を生かして得意なことや興味のある活動への参加を促すなど肯定的な対応を心がけています。

また、今年は発達障害者支援法が改正され、ライフステージにおいて切れ目のない支援を行うことや、地域できめ細かな支援が必要であることがポイントとして挙げられるなど、支援の専門性や地域包括ケアの必要性が強くなっていることがうかがえます。白萩園も地域の中の1機関であると捉え、他機関・他職種と連携してチームでサポートしていきたいと思います。そして、障がい者支援は『価値の高い専門職である』と多くの方に言ってもらえるようにしたいと思います。

最後に、みのり村の皆さんが健康で、より充実した1年を過ごせますように願い、私の挨拶とさせていただきます。



決意表明をする河野健吾支援員

白萩園 支援員 河野 健吾

## 高齢者福祉部

デイサービスセンターにおいて、昨年は日常生活支援総合事業へ更に力を入れて取り組んだ年でした。

総合事業は要介護状態とならない為に、心身の向上を図るいわゆる二次予防としての支援となります。「少し上手いかな」「動作に不安がある」といった部分に対し運動機能向上のアプローチをしていかなければなりません。自立した生活・機能改善を具現化し達成へと導く支援が必要です。

リハビリ専門職のいないデイサービスセンターに、国や市は何処まで求めるかと感じていました。

そのような中、昨年10月から三か月間、杵築市の事業として地域リハビリ支援活動が行われました。杵築市立山香病院の理学療法士が、当デイサービスセンターを訪れ、専門的な知識と技術を指導して下さいました。リスク管理や痛みに対するアプローチ、有効な運動内容等リハビリ専門職からの助言、指導を受けて「自分たちにも出来る」という自信が湧いてきました。この貴重な時間を無駄にしないように、ご利用者様の機能向上に繋がる取り組みをしていかなければなりません。その為には、機能訓練士だけでなく、他の職員の力が必要です。ご利用者様の個別情報を共有し、職員全員が同じ方向を向いて進んで行けるようチームワークを重視して取り組んでいきたいと思っています。

平成30年の介護保険制度の改正では、膨らみ続ける社会保障費を抑える為に「要介護1.2」と認定された軽度者向けサービスを大幅に見直す方針が明らかになっています。また介護報酬の改定で更なる引き下げも懸念されます。在宅サービス運営上、良い境遇ではありませんが「地域から在宅へ」の国の方針を受け、私たち在宅部門は、地域包括システムの一役を担う事業として、地域の皆様に認められるよう取り組んでいきます。

最後になりますが、大木理事長をはじめ、皆様のご指導とご意見を頂きながら、ご利用者の皆様から「菩提樹に来ると元気になる」と言って頂けるように、今年も新たに気を引き締めて自己研鑽を重ね努力していきたいと思っています。

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ私の決意表明と致します。

菩提樹デイ「風と樹々と空と」  
生活相談員 大畑由香利



決意表明をする大畑由香利支援員



第21回

# 社会保険ミニバレーボール 大分大会に出場

大分県社会保険協会主催の「社会保険ミニバレーボール大会」に法人チーム「みのり」で出場しました。9月に開催された別府地区大会では3位となり大分大会の出場枠を得ました。大分大会は11月20日、各地区大会で勝ち抜いた代表16チームで熱戦が繰り広げられました、みのりチームは残念ながら入賞を逃しましたが、チーム一丸で戦い抜くことができました。選手の皆さんお疲れ様でした。(11月20日)



出場チーム整列  
「正々堂々と戦います」  
別府会場



選手の皆さんです  
「健闘しました」



他試合で審判員として  
も活躍しました  
(大分大会)

# 芋ほり&お芋をいっぱい食べよう会~地域交流

平成28年度 地域交流「芋ほり&お芋をいっぱい食べよう会」が菩提樹で開催されました。秋晴れの中、竹の子クラブの小学生の皆さんとご家族、そしてみのり村グループホームのご利用者さん等、総勢27名が芋ほり、試食会をしました。芋ほりを初めて体験したお子さんからは、「大きい~小さい~」と楽しく声をあげていました。また試食会では、お芋で作ったスイートポテトや芋ようかんを食べながら談笑しました。お芋一色の楽しい地域交流のひと時でした。(11月12日)



お芋料理は職員の手作りです



みんなで協力して  
お芋の収穫に挑戦!



元気に記念撮影  
「ありがとうございました」

# 朝夕の交通安全街頭指導

全国交通安全運動の時期になると、運転者へ交通ルールやマナーの遵守を呼びかけ、交通事故防止の促進を図ることを目的に、杵築部 国道213号線「えむほガーデン前」で交通安全街頭指導を行っています。

全職員には、年1回以上、街頭指導に参加することで交通ルールやマナーを再認識しています。今後も街頭指導を続けることで交通安全を呼び掛けていきます。

(9月21日)



国道213号線  
えむほガーデン前



全職員が交代で交通  
マナーを呼び掛けます

# 平成28年熊本地震発生に伴う 福祉避難所派遣による報告会

菩提樹施設サービス課 阿部和大ケアワーカーより熊本地震発生に伴う福祉避難所へ派遣された現況報告会が行われました。阿部ケアワーカーは現地の方々の支えになれたらと、自ら派遣を志願しました、先の応援壮行式では理事長より「熊本の被災した方々のために尽力したいとの気持ちを大切に頑張りたい」と激励され、約20日間の支援を全うしました。

現況報告会では数多くの写真をスライドしながら、街の様子、福祉避難所内の様子を伝えてくれました。阿部ケアワーカーは、一人では出来ないことも、同じ目的を持った人が集まることでその支援を快くできるということを学んだと言い、今回の貴重な経験をさせて頂いたのも皆さんの協力があったからこそ出来ました、ありがとうございましたと~締めくくり、聴取した職員より労いの拍手が送られました。

(9月28日)



活動報告をする  
阿部ケアワーカー



震災の恐ろしさ  
学ぶことができました

# OBSテレビ旬感3ch 取材、放映されました。

番組テーマは「~人手不足解消へ! 企業の一手とは~」

番組ではアナウンサーが「杵築市の社会福祉法人みのり村では高齢者を積極的に雇用しています。みのり村は長年にわたり取り組んできた高齢者の積極的な雇用促進と快適な雇用環境実現に向けての創意工夫がされています」と紹介されました。

(放映日:10月21日夜7:00)



取材の様子



元気な姿に若手職員も  
モチベーションアップ!



施設訪問

ふくろう茶屋視察

日出町で

認知症に携わる

ご家族と

ボランティア様

(14名)

認知症カフェ「ふくろう茶屋」に、日出町より認知症の方を介護されているご家族やボランティア等でお世話をされている方々が見学されました。中原世話人よりまちかど交流サロン「ふくろう」の概要、また認知症カフェ「ふくろう茶屋」についての取り組み等の説明を聞かれました。朝食後は手品、音楽、ゲーム等で楽しく交流されました。ありがとうございました。

(9月15日)



交流サロン「ふくろう」の取り組みについて



認知症カフェ「ふくろう茶屋」で記念撮影

ワークセンター「誠」  
県立日出支援学校  
保護者様が  
作業場視察

(31名)

杵築部に日出支援学校保護者の方々が就労施設を見学されました。見学された施設は主に、ワークセンター「誠」、いち押し工房、えむほガーデン等で、各担当者から説明に、保護者の方々は真剣に聞き入っていました。質問も多々ありとても有意義なひと時を過ごされました。またのお越しをお待ち致しております。ありがとうございました。

(9月23日)



えむほガーデンを見学され帰路につきました



法人の沿革について理事長より説明がありました

高齢者福祉部を見学  
佐賀県小城市民生委員様

(27名)

民生委員の方々が見察研修のために来園されました。法人沿革、経営理念等を理事長から説明されると「伝統ある法人ですね」と感動を受けておられました。

一行はその後、個室ユニット型施設、デイサービスセンター等を視察、さらには銀杏並木を散策、広大な自然の中で施設担当者との意見を交わしながら、時にはご利用者に声を掛けながら、短い時間ではありましたが充実した見学となりました。民生委員の皆様も、地域との関係は近くにこういう施設があることで連携できる、これを機に地域の方々との連携を深めていきたいとおっしゃっていました。小城市民生委員様 遠路からのご見学ありがとうございました。

(9月29日)



理事長より挨拶



玄関前で記念撮影

菩提樹で研修会  
いきいきサロン  
「相原なかよし」  
クラブ様

(14名)



個室ユニット型菩提樹の特徴は～

杵築市 相原地区のいきいきサロン「相原なかよしクラブ」の皆様が、個室ユニット型特別養護老人ホーム菩提樹に来園視察されました。担当者より施設の概要、入所条件、平均介護度、平均年齢、利用料等の説明がありました。皆さんは、まだまだ先の事とは言え、いずれ介護でお世話になるかもしれない不安もあり、熱心に聞き入っていました。また入所されるとしたらお部屋は個室希望で、施設を褒めていただき、大変有意義な研修会であったと喜んで頂きました。ありがとうございました。

(10月27日)

みのり学園視察  
愛媛県豊正園様

(9名)

愛媛県の障害者支援施設豊正園から9名の職員が日出障がい福祉部の視察にみえました。

当法人の事業概要の説明を行った後、事業所内の見学、その後意見交換を行いました。意見交換会では、お互いの施設が抱えている問題や課題について情報の共有を図りました。



視察後職員と来園記念写真



問題や課題について情報の共有を図りました

ご利用者の高齢・重度化が進む中、地域における福祉施設の役割は益々重要になっていきます。今後、地域の社会資源としての機能を果たしていく必要があることをお互いに施設関係者で再認識しました。豊正園の皆様、遠路ありがとうございました。

(10月28日)



贈

# 大分県内の介護施設初 介護ロボット「HAL」導入

特別養護老人ホーム菩提樹に大分県で初めて介護ロボット「HAL」を一部補助にて導入しました。関係者の出席のもと御披露目式を開催しました。

「HAL」は介護支援用の腰タイプのロボットです。生体電位信号を読み取ることで、介護者の動きをアシストし、身体的負荷を軽減します。重量は約2.9kgとコンパクトで女性でも簡単に利用できます。

今後も法人全体で介護業務の負担軽減を図りサービスの質の向上に取り組んで参ります。



# 財団法人JKA様の補助事業により、 特殊浴槽が設置されました。

補助事業の概要…座位入浴、対面式特殊浴槽(アノテールウインドAS100)導入。

事業実施効果…本事業により、利用者の安心、安全で快適な入浴利用。職員の支援・介護負担の軽減。支援時間の効果的活用(支援の充実)が期待されます。



設置された「座位入浴、対面式特殊浴槽」

特殊浴槽は障害者施設に於いて、ご利用者様の高齢化が進む中、必要不可欠な機器となることは間違いありません。それだけに、この補助事業が利用者、職員にとって非常に大きい支えになると感じます。大切に使用させていただきます。(9月28日)

# 心温まるひざ掛けを ありがとうございました。

びざいました。

日出町社会福祉協議会よりひざ掛けの寄贈がありました。

これからの時季、ご利用者様に嬉しいプレゼントです。皆様も大変喜んでいらつしやいました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。(12月26日)



心温まる手編みのひざ掛けです

# バナナをいただきました！

杵築市相原の渡辺モーターズ様より、たくさんバナナを頂きました。バナナは各事業所に配られご利用者さんに届けられました。

渡辺社長へ感謝状を差しあげました。ありがとうございました。(9月28日)



感謝状贈呈

# 平成28年度 権利擁護研修会の開催

権利擁護研修会がパブリックスペースにて、九州ルーテル学院大学 西 章男教授を講師で招き開かれました。

講演は、「専門職の価値～私たちが大切にしていること～」の内容で、価値と倫理の実践の第一歩として～支援者である

自分自身の尊厳を大切にする。最も大切な実践は、自分自身が一生懸命生きること～を学びました。私たちは、ご利用者の尊厳保持のため、福祉の専門職として大切にしなければならぬ価値について再認識をしました。(平成29年1月20日)



権利擁護研修会の様子

# 福祉サービス相談委員会を開催

28年度第1回の福祉サービス相談委員会を開催、各事業所代表者より、ご利用者、ご家族等からの相談・苦情の報告があり、それぞれ解決に向けて適切な対応をさせて頂きました。今後も事業所への巡回訪問等により苦情解決の取組の支援、福祉サービスの質の向上に向けて努めてまいります。(9月21日)



各事業所からの報告

# 平成28年度 大分県高齢者福祉施設等実践 研究発表会が開催される

大分県高年齢者福祉施設等実践研究発表会が開催されました。県老協会長として理事長が挨拶され、また各表彰式が行われました。実践研究発表会では特養菩提樹、田中久美子ケアワーカーが「生きることは働くこと」、デイサービスセンター三枝ナースが「以前の生活を取り戻すための取り組み」のテーマでそれぞれ発表をいたしました。また同時に開催された第5回「介護って素晴らしい」フォトコンテストの表彰があり当施設の写真も入賞、展示されました。(10月27日)



デイサービスセンター実践研究発表の様子



# 表彰

## 平成28年度 高齢者雇用開発コンテスト 優秀賞受賞!

平成28年10月5日(水)  
 東京都千代田区イイノホールにて、厚生労働省、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が主催する、高齢者雇用開発コンテストの表彰式が開催され、当法人が優秀賞を受賞しました。



表彰を受ける松岡本部総務人事課長

今回の受賞は、当法人が長年にわたり取り組んできた高齢者の積極的な雇用促進と快適な雇用環境実現に向けての創意工夫が認められたものであり、その実績が極めて優秀であり他の範となることによる賞です。大分県の事業所としては、今回初めて当法人が優秀賞を受賞しました。

高齢者雇用の総合誌「エルダー」2016年11月号に当法人が今回受賞した、「平成28年度 高齢者雇用開発コンテスト」優秀賞の内容を紹介しております。

詳細は、ホームページ「みのり村のご案内」「情報公開」の「広報」欄をご覧ください。

(10月5日)

## 平成28年度 豊の国雇用促進フェスタで表彰される

「豊の国雇用促進フェスタ」がトキハ会館で開催され、厚生労働省主催の高齢者雇用開発コンテストで、高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長表彰「優秀賞」を大分県の法人で初めて受賞されたことを披露されました。

(10月24日)



受賞披露される理事長と松岡総務人事課長

## 第27回「福祉Q.C」全国発表大会(東京)

ワークセンター「誠」がみのり村から初参加で見事「敢闘賞」受賞。

全国社会福祉協議会(東京)主催で開催された「福祉Q.C」全国発表大会で、ワークセンター「誠」の支援員、後藤太希・渡辺真也の両名が「TEAM誠」として発表しました。



発表会会場の様子

当日は、全国から34件の事例発表がありました。「TEAM誠」は『選んでいただける事業所であるために』をテーマに発表し、敢闘賞を受賞しました。

初参加ということで緊張もありましたが、全国の他施設の発表事例を聞いて、大変良い刺激となりました。今後も福祉QC活動を継続し、サービスの質の向上や人材育成に努めます。

(11月21、22日)

## おおいたマルシェに「みのり村ブランド」出店

大分こいの道芝生広場で、県内の食や楽しいブースがいっぱいの「おおいたマルシェ」が開催されました。みのりスマイル・ワークセンター「誠」も「みのり村ブランド農産物」を販売、二日間さわやかな秋晴れの下、沢山のお客様にご来店頂きました。ありがとうございました。

(10月29日・30日)



おおいたマルシェ入口



出店の様子

## 第12回 みのり村作品展開催

テーマ：扉をひらいて下さい 今を生きよう 自分らしく

今年度も、大分市アートプラザの会場から開催し、杵築市山香庁舎、交流ひろばHiCaLi(昨年は二の丸会館)の各会場で関係各位のご協力を頂き、みのり村ご利用者の心のこもった作品展を開催することができました。

期間中、多くの皆様方にご来場頂きましてありがとうございました。心から御礼申し上げます。(10月27日)

ご利用者の心のこもった作品  
みんなで作成させました

作品展案内状

テーマは「自分らしく」

### 総合福祉ケアサポートセンター みのり村

- 特別養護老人ホーム 菩提樹(個室ユニット)
- ショートステイ事業
- 菩提樹デイ「風と樹々と空と」
- ケアプランセンター ぼだいじゅ
- ホームヘルパーステーション ぼだいじゅ
- 配食サービス
- 在宅介護支援センター ぼだいじゅ
- えむほ ガーデン
- 障がい児入所施設 第1みのり学園
- 児童発達支援センター「プリンちゃん」
- 障がい者支援施設 第2みのり学園
- 障がい者支援施設 白百合園
- みのりスマイル(就労)
- 総合相談支援 M・プラザ HIJ I
- 障がい者支援施設 白萩園
- ワークセンター「誠」(就労)
- みのり村 いち押し工房
- グループホーム みのり村
- 総合相談支援 M・プラザ KITUKI
- みのり村介護・福祉タクシー
- 菩提樹まちかど交流サロン「福ろう」
- 認知症カフェ ふくろう茶屋

**障がい児から就労、そして  
老後までの安心トータルサポート**

### 編集後記

窓の外には、手前より「こぶし」「ソメイヨシノ」「シバザクラ」が観れます。あと数日もするとソメイヨシノが満開になり、つつじも花開き、私たちを楽しませてくれます。銀杏並木も芽吹きができる準備が整いました。吾輩も新年度より輝かしいスタートを切りたい…(広報室)



春! 窓からは「こぶし」が満開です

編集・発行/本部総務人事課

〒873-0013  
 大分県杵築市大字日野1921の7  
 TEL 0976-66-1200  
 FAX 0978-62-2974  
 URL <http://www.minorimura.or.jp/>  
 メール [info@minorimura.or.jp](mailto:info@minorimura.or.jp)

※写真掲載等には、  
ご本人の了解を得ております。

## 介護職員初任者研修事業 閉講式



受講修了者の皆さん

平成28年度介護職員初任者研修閉講式が執り行われました。松岡総務人事課長より7名の受講者に修了証書が授与され「この研修で教わったことを皆さんの職場で活かしてもらいたい」と挨拶がありました。最後に記念撮影を行いました。

(11月28日)

## 第65回創立記念日並びに永年勤続者表彰

12月8日第65回創立記念日に永年勤続表彰が行われ、22名が理事長より表彰状と記念品が授与されました。(12月8日)



表彰者の皆さん

### 永年勤続者表彰

勤続	氏名	所属
20年表彰	藤本征四郎	みのりスマイル
	岩尾 公則	ワークセンター誠
	佐々木幸子	第1みのり学園
	河野美登里	ワークセンター誠
60歳未満	加藤 英子	白萩園
	渡辺美津子	白萩園
	中原 章价	福ろう
	合田 清子	菩提樹
	内藤 勝利	菩提樹
	植田 秀樹	菩提樹
	渡辺 鉄郎	第2みのり学園
	秋吉 成子	第2みのり学園
	平田 洋子	第2みのり学園
	10年表彰	

勤続	氏名	所属
20年表彰	須賀 敏子	プリンちゃん
	清水 美帆	ワークセンター誠
	松岡 敬一	本部
	笠置 幸子	菩提樹
	須賀 裕章	ワークセンター誠
10年表彰	高橋紀美子	第2みのり学園
	高橋 晴子	ヘルパーステーション
	梶原 栄子	菩提樹
	後藤 美樹	第1みのり学園



菩提樹大石施設長代理の代表挨拶

## 村の供養塔

3.11.2011(東日本大震災)

私たちは、忘れない。

この日のライトアップは特別でした。



ライトアップされた三重の塔(供養塔)

【内部監査の目的】法人内の各部における建物管理、施設運営、利用者処遇、事務執行等を監査し、積極的な助言、改善指導を行うことで法人業務全般の質の向上、健全な運営を目指すことを目的とします。

(11月25日)



内部監査の様子

# 平成28年度 内部監査が行われました